

杉並区教育長 白石高士 殿

新型コロナ感染をめぐる事態深刻化のなか、ただちに東京五輪への 児童生徒の観戦動員の中止決断を求める申し入れ

2021年7月8日
日本共産党杉並区議団

日本共産党杉並区議団は、東京五輪への児童生徒の観戦動員中止を繰り返し求めてきました。教育長は、わが党の前回の申し入れに対し、感染状況を見て判断すると回答しました。その後の推移は、一刻も早く児童生徒の観戦動員中止を決断すべき事態です。

第1に、新規感染者数の増加です。都内の新規感染者数は対前週比増加が続き、昨日の新規感染者数は、対前週比124.3%増の920人となりました。

第2に、報道では、政府が東京都に対し緊急事態宣言を再発令する方針を固めたことです。緊急事態宣言下で都民には外出の抑制が強く求められているとき、児童生徒を集団として観戦動員することは、到底許されません。

第3に、都内の過半数の自治体が児童生徒の観戦動員の中止を決断していることです。中止を決断した自治体は、昨日時点で12区を含む39自治体に及んでいます。区内でも28の小中学校が観戦を中止しました。区民からは、この事態のなかで中止を決断しない杉並区に対し、厳しい批判の声があがっています。

もはや、各学校長の判断にゆだねる段階ではないと考えます。教育委員会として杉並区の児童生徒の観戦動員は中止することを決断し、学校、保護者にすみやかに通知することを強く求めます。

以上